

柴北川プロジェクト通信 34号

平成26年5月31日(土)

26年度の共助研年次総会が、福岡市内のA.R.Kビル会議室で5月21日(水)に開催され、今期の柴北川プロジェクト及び雲仙プロジェクト等の活動計画が話し合われました。

今期の柴北川プロジェクトについては、6月22日開催の合同田植え会から活動を始めよう、と決まって、会議後に近くの居酒屋に移って懇親会。その席で、「柴北川を愛する会」からオブザーバーとして参加の渡邊事務局長に、“そういえば、今年は柴北川のホタルはどうですか?”と問い合わせがあり、“5月末から飛びはじめますよ”との返事に、数名の会員がピクッと反応。“じゃあ、見にいこうや”と急遽話がまとまって、今回の「長谷ホタル狩り」とあいなった次第です。

1. 酔狂な4名が福岡からホタル狩りへ。ホタルもいいけど.....

今回は、急な活動決定ということもあって、プロジェクトリーダー(今期から4名)の参加が一人もないままに、参加希望者が各自の足で18時に現地合流することとなり、先ずは山下さんと波木が長谷に到着。

当初は黒松生活改善センターで集合だったはずが、阿蘇神社手前の道路に数台の車が集結。懇親会及び宿泊の場として、急遽、「愛する会」会員の三浦君重さん(通称きみさん)のお宅の離れを借用することになった様子。

君さんはもとより穴見純一会長(通称じゅんちゃん)、渡邊雪法事務局長(通称ゆきさん)も既に駆けつけていて、交流会に向けて意気揚々・・のところに、波木が“夕暮れ時の長谷を見ておきたい。”と横やり。「愛する会」の面々は、意気を削がれて“しょうがねえな”と思いつつ(きっと!)、薄暮の松巖寺～成瀬谷～山内～栗ヶ畑を車で案内。途中、郷土史家の安藤恒美さん(通称つねみ先生)夫妻にもお会いしてから、君さん別宅に戻り19時からやっと乾杯の発声。

食卓には、君さん夫妻おもてなしの料理が並び、天然アユの贅沢な振る舞いも。

夜も更けた20時に一旦中締めをして、一同、山内地区へ。(勿論、運転手役のゆきさんは飲まず我慢)山内地区では、昨年は、柴北川から山裾を駆け上がるように飛翔するホタルの群舞が見事だったらしいが、今年は残念ながら数匹がゆっくりと舞うのみ。

我々以外にも数名の家族連れらしき来訪者があり、聞くと、大分市から地元のブログを見て来てみたとのこと。(愛する会会員の方のブログ→<http://www.coara.or.jp/~teruaki/>)

それならいっしょに栗ヶ畑川に行こうと、車を連ねて栗ヶ畑地区の神社西側の川沿いへ。川土手に沿って数分歩くと、数匹のホタルがゆっくりとしたリズムで飛び交っており、さらに上流に歩を進めると、眼前の川面一帯に数え切れぬほどのホタルの群舞。その見事さにしばらく見とれ、ふと気付くとすぐ隣に「愛する会」ホタル班長の後藤梅生さん(通称うめちゃん)が、ニコニコしながら(当然暗闇の中なので気配ですが)ホタルを観察中。“今年は、昨年ほどではねえけど、こん場所は多いよ”と。

しばらくして、武市さんが現地に到着。隣に長身の男性を伴って。ただし、暗くて顔を拝見できず、すわっ!いい人と同伴か、と・・明るい場所であらためて挨拶すると、同伴の男性は60歳代で、武市さんのガード役を買って出た親戚(従兄弟)の方でした。(商社勤めですと海外勤務をされ、定年後、福岡に戻られたとのこと)



栗ヶ畑川でホタル狩りの面々。
ホタル群舞の様子は下記のブログで

一同、栗ヶ畑ホテル達の群舞・乱舞を堪能して、君さん別宅に引き返し、交流会を再開。

日本酒大好きの武市さんと従兄弟さんが加わって、場が盛り上がりぬはすがなく、途中からはホテル班長の後藤さんも駆けつけて、君さん別宅は遅くまでワイワイと。君さんのプロ級の竹工芸にも話が及び、花かごやウナギ採り用の竹筒などを手にしながら、一同酔うがままに賛嘆の辞。気を良くした君さんは、当然のようにギターに手を伸ばして KIMI&YUKI 流しコンビの再結成。美声とかろやかなギターの音が、深夜の黒松に響き渡ったのでした。

その歌声に触発されたのか、6月の田植えの際には武市さんがキーボードを持参して、参加者みんなで合唱をとの企画も練られました。(後日、武市さんが名誉の指負傷。合唱は実現するか否か?)



君さん別宅で盛り上がる面々。
KIMI&YUKIの流しコンビ再結成も

2. 山内での草切り作業には・・・

翌朝は、7時頃から、「愛する会」メンバーによる山内地区での草切り活動の日。昨年までは山内地区の自治会活動へのお助け隊として出動していたようですが、高齢化に伴って自治会主導での広さ7000㎡強の草切りは厳しいとなり、今年から「愛する会」で全面的に請け負うこととなったようです。

19名のメンバーが朝早くからピーバー(草刈り機)持参で集合し、柴北川沿いの河川敷と空地を一斉に草切り。一同いつもの手なれた作業で、1時間と少しで現地は見事に刈り取られていました。

一方、共助研の面々はというと、“草切りを手伝うよ”と威勢のよい声も一部に上がっていたものの、結局7時頃まで朝寝坊。君さんの奥さんに暖かい朝食をふるまっていたきながら、長谷の爽やかな朝をのんびりと堪能させていただいた次第です。

朝食中には、近所に住む大塚前会長のお姉さんが玉ねぎや菜ものを手土産に立ち寄られ、奥さんを交えてしばらくみんなで歓談。22日の合同田植え会での再会を約束してきました。

その後、一同山内地区を訪れて、愛する会の皆さんの草切りぶりを拝見し、昨夜からの歓待に御礼を言って長谷を後にしました。

(この後、武市さんお二人と波木は、さらに穴見会長宅にお邪魔して、梅の実や野菜を土産として頂戴して帰途についた次第です。)

今回の訪問は突然に企画したこともあり、残念ながら、長谷地域総合開発促進協議会の田嶋会長や平石さん達との再会は果たせませんでした。同協議会による地域活動には当会としても関心を寄せているところで、要請をいただければ協力・支援は惜しみませんと、「愛する会」の方々とも話し合いました。

また、同日夜の黒松センターでの草切り慰労会では、君さん宅に我々が泊めていただいたことが話題となり、今後、「人数が多く、君さんとここに泊まりきれん時は、分宿すればいい」という声もいただいたようで、本当に有難い話であると喜んでいきます。

これまででも、愛する会の皆さんとは数多くの交流を進めてきましたが、たまにはこうして深夜まで腰を落ち着けて飲みかつ語り合うことで、本音での共助の付き合いができるかと痛感しました。

今回の突然の我儘を受け入れていただき、さらに、今後の互いの付き合い方を見定める良い機会を作っていたいただいた、三浦さん、穴見さん、渡邊さん、後藤さんをはじめとする「愛する会」の皆さんに、心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

(文責：波木)



草切り隊の集合写真。